

# 地方小委員会の概要と意見

(1) 北海道地方小委員会	1
・一般国道5号 (北海道横断自動車道) 蘭越倶知安道路 (ニセコ～倶知安)	
・一般国道39号 (北海道横断自動車道) 女満別空港網走道路 (女満別空港～網走呼人)	
(2) 東北地方小委員会	2
・一般国道4号 水沢金ヶ崎道路	
(3) 関東地方小委員会	3
・一般国道20号 新山梨環状道路 (桜井～塚原)	
(4) 中部地方小委員会	4
・一般国道158号 (中部縦貫自動車道) 高山東道路 (平湯～久手)	
(5) 中国地方小委員会	5
・一般国道29号 津ノ井バイパス (広岡～西大路)	
・一般国道 2号 台道・鑄銭司拡幅	
(6) 四国地方小委員会	6
・一般国道56号 (四国横断自動車道) 宿毛内海道路 (一本松～御荘)	
・一般国道56号 (四国横断自動車道) 宿毛内海道路 (宿毛和田～宿毛新港)	
・一般国道55号 奈半利安芸道路 (奈半利～安田)	
(7) 九州地方小委員会	7
・一般国道220号 (東九州自動車道) 南郷奈留道路	
・一般国道57号 大津道路	

# 北海道地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和6年3月7日（木）10:00～12:00

## □場所

札幌第一合同庁舎 10階 1, 2号会議室

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
おかだ みやこ 岡田 美弥子	北海道大学大学院 教授	○
かとう ゆきこ 加藤 由紀子	北海商科大学 教授	○
きし くにひろ 岸 邦宏	北海道大学大学院 教授	○
くぼ としゆき 久保 俊幸	北海道商工会議所連合会 副会頭	○
しまもと かずあき 島本 和明	日本医療大学 総長	○
すかい たかこ 菅井 貴子	気象防災キャスター	○
【委員長】 たかはし きよし 高橋 清	北見工業大学 教授	○

（敬称略、五十音順）

## □対象事業

- 一般国道39号（北海道横断自動車道）女満別空港網走道路（女満別空港～網走呼人）
- 一般国道5号（北海道横断自動車道）蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安）

## □議事概要（各委員からの意見）

### 【共通】

- 道路が寸断されると命に関わるため、災害発生時においても機能する道路を早期に整備することが重要。
- 高次医療施設までの所要時間を短縮し、高次医療圏を拡大することが重要。当該区間だけでなく、高規格道路全体が整備されることによる更なる圏域の拡大に期待。
- 世界自然遺産「知床」や国際的リゾート「ニセコ」を有する両地域では、インバウンド観光が多いため、道路利用者にとって利便性が高く安全性の高い道路が必要。
- 両路線ともに北海道の「生産空間」からの物流ルートであり、全国の食を支える上でも高規格道路ネットワークとしてつながることが重要。
- 最新の社会情勢等を踏まえ、社会的割引率を1%と2%とした場合のB/Cを参考値として併記されたことは大変意義がある。社会的割引率の見直しについては、今後の評価手法の充実のためにもしっかり議論していくべき。

## □結論

一般国道39号（北海道横断自動車道）女満別空港網走道路（女満別空港～網走呼人）  
一般国道5号（北海道横断自動車道）蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安）  
の新規事業化については妥当である。

# 東北地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和6年3月8日（金）10:00～11:00

## □場所

東北地方整備局 仙台合同庁舎B棟 13階 水災害予報センター

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いおか かよこ 井岡 佳代子	青森大学 総合経営学部 准教授	○
おのざわ あきこ 小野澤 章子	岩手大学 人文社会科学部 准教授	○
かさい まこと 葛西 誠	秋田工業高等専門学校 創造システム工学科 土木・建築系 准教授	○
かわさき こうた 川崎 興太	福島大学 共生システム理工学類 教授	○
きくち あきら 菊池 輝	東北工業大学 大学院工学研究科 教授	○
さいとう かんじ 齋藤 幹治	(一社)東北経済連合会 専務理事	○
みやはら いくこ 宮原 育子	宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 教授	○
よした あきら 吉田 朗	東北芸術工科大学 基盤教育研究センター 教授	

## □対象事業

- 一般国道4号 水沢金ケ崎道路

## □議事概要（各委員からの意見）

### 【一般国道4号 水沢金ケ崎道路】

- 岩手県を南北に貫く国道4号は、最も重要な幹線道路であり、片側2車線を基本として、早期に整備すべき。
- 対象区間に平行する東北自動車道は通行止めが多い区間であり、冬の降雪など気象条件が厳しい当該地域において円滑な交通が確保されるよう、速やかに事業着手すべき。
- 事業の実施にあたっては、交通混雑の要因のひとつでもある従道路との合流部において、混雑が悪化しないように暫定的な措置も検討されたい。
- 自動車関連企業や半導体企業の立地・集積が進む岩手県南地域は、東北地方のみならず日本の経済を牽引していると言っても過言ではなく、喫緊な道路整備が必要である。

## □結論

一般国道4号 水沢金ケ崎道路  
の新規事業化については妥当である。

# 関東地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和6年3月6日（水）15:00～16:30

## □場所

九段第3合同庁舎15階会議室（WEB会議併用）

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
秋葉 正一 (あきば しょういち)	日本大学生産工学部土木工学科教授	○
大下 茂 (おおしも しげる)	帝京大学経済学部観光経営学科教授	○
鬼沢 良子 (きざわ りょうこ)	NPO法人 「持続可能な社会をつくる元気ネット」理事長	
久保田 尚 (くぼた ひさし)	埼玉大学大学院理工学研究科教授	○
佐々木 淳 (ささき じゅん)	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	○
谷口 綾子 (たにぐち あやこ)	筑波大学システム情報系教授	
藤山 知加子 (ふじやま ちかこ)	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院教授	
二村 真理子 (ふたむら まりこ)	東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授	○
前田 栄治 (まえだ えいじ)	千葉県経済同友会副代表幹事	
【委員長】 屋井 鉄雄 (やい てつお)	東京工業大学特命教授・名誉教授	○

(敬称略、五十音順)

## □対象事業

- 一般国道20号 新山梨環状道路（桜井～塚原）

## □議事概要（各委員からの意見）

【一般国道20号 新山梨環状道路（桜井～塚原）】

- 山梨県は富士山や果物等のポテンシャルを勘案すると、観光需要が劇的に増加する可能性がある。高速バスや、鉄道駅下車後の、一般道の渋滞解消は極めて重要であり、新山梨環状道路の整備は非常に有効であると考えられる。
- 甲府周辺は観光で訪れたことがあるが、極めて混雑している。新山梨環状道路の整備によって交通容量が増加し、混雑緩和に寄与することは、重要と考えられる。
- リニア中央新幹線の開通により、東京や名古屋の通勤圏となるなど、甲府は発展する地域であり、新山梨環状道路は、この地域の活性化に役立つと考えられる。
- 環状道路全体が完成しないと十分な機能を発揮できない部分もあることから、塚原から牛匂の区間についても、早期整備が必要。事業全体のスケジュールを考えるべきである。
- 計画段階評価については、現道の状況を考えれば、現道拡幅と比べてバイパスの方が合理的であることが明らかであり、妥当であると考えられる。

## □結論

一般国道20号 新山梨環状道路（桜井～塚原）

の新規事業化については妥当である。

# 中部地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和6年3月7日（木） 9:30～11:00

## □場所

中部地方整備局 3階共用大会議室

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いたや 明美 板谷 明美	三重大学大学院生物資源学研究科 准教授	×
かとう よしと 加藤 義人	岐阜大学工学部 客員教授	○
【委員長】 くらうち 文孝 倉内 文孝	岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授	○
さとう くみ 佐藤 久美	名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授	○
すすき こうじ 鈴木 弘司	名古屋工業大学社会工学教育類環境都市分野 教授	×
ねもと けいじ 根本 恵司	(一社) 中部経済連合会 常務理事	○
みずお えり 水尾 衣里	名城大学人間学部人間学研究科 教授	○
みちばやし かつよし 道林 克禎	名古屋大学大学院環境学研究科 教授	×
やまだ えり 山田 恵里	名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部 講師	×

(敬称略、五十音順)

## □対象事業

- 一般国道158号（中部縦貫自動車道）高山東道路（平湯～久手）

## □議事概要（各委員からの意見）

【一般国道158号（中部縦貫自動車道）高山東道路（平湯～久手）】

- 高山東道路（平湯～久手）は、豪雨のみでなく、降雪による現道の通行障害等に対しても非常に重要な道路。
- 費用便益分析について、個別事業単位の評価よりも道路ネットワーク全体での一体的な評価が重要と考える。
- 残る久手～日面区間についても重要と考える。

## □結論

一般国道158号（中部縦貫自動車道）高山東道路（平湯～久手）の新規事業化については妥当である。

# 中国地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和6年3月7日（木）13:00～14:25

## □場所

中国地方整備局 建政部 3階 会議室

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
【委員長】 わたなべ かずなり 渡邊 一成	福山市立大学 都市経営学部 教授	○
いの しみお 飯野 公央	島根大学 法文学部 教授	○
すずき はるな 鈴木 春菜	山口大学大学院 創成科学研究科 准教授	○
たにくち まさひこ 谷口 雅彦	中国経済連合会 専務理事	
たにもと けいし 谷本 圭志	鳥取大学 工学部 教授	
はしもと せいじ 橋本 成仁	岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域 教授	○
ふくだ きょうこ 福田 京子	地域づくりネットワーク 代表	○
やまだ ともこ 山田 知子	比治山大学 現代文化学部マスコミュニケーション学科 教授	○

## □対象事業

- 一般国道2号 台道・鑄銭司拡幅
- 一般国道29号 津ノ井バイパス（広岡～西大路）

## □議事概要（各委員からの意見）

### 【一般国道2号 台道・鑄銭司拡幅】

- 時間信頼性の評価について、時間が読めない中さらに具体的な評価をすることが望ましい。
- 近年、災害が頻発している中で、災害に十分に耐えうる計画とすることが重要である。
- 道路整備事業を計画していく中で、沿道開発等の土地利用によって、道路本来の機能が損なわれないような計画とすることが重要である。

### 【一般国道29号 津ノ井バイパス（広岡～西大路）】

- 並行する鉄道駅などのマルチモードなネットワークとの連携やバランスについても配慮が必要と考える。

### 【社会的割引率】

- 民間に比べ、社会的割引率4%は現実的ではないが、過去の経緯から4%で異論はない。1%、2%を参考で示すことは良いこと。

## □結論

- 一般国道2号 台道・鑄銭司拡幅
- 一般国道29号 津ノ井バイパス（広岡～西大路）

の新規事業化については妥当である。

# 四国地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和6年3月6日（水）13:30～15:30

## □場所

高松サポート合同庁舎 北館13階 災害対策室（WEB併用）

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
おおいし たまき 大西 玉喜	四国経済連合会 専務理事	○
くらうち しんや 倉内 慎也	愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授	○
こんどう あきこ 近藤 明子	四国大学経営情報学部メディア情報学科 准教授	○
にしうち ひろあき 西内 裕晶	高知工科大学システム工学群 教授	○
の のむら あつこ 野々村 敦子	香川大学創造工学部創造工学科 教授	○
はたけなか ともこ 畠中 智子	高知のまちづくりを考える会 代表	○
はとり つよし 羽鳥 剛史	愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 教授	○
【委員長】 やまなか ひでお 山中 英生	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 研究部長	○

## □対象事業

- 一般国道56号（四国横断自動車道）宿毛内海道路（宿毛和田～宿毛新港）
- 一般国道56号（四国横断自動車道）宿毛内海道路（一本松～御荘）
- 一般国道55号 奈半利安芸道路（奈半利～安田）

## □議事概要（各委員からの意見）

【一般国道56号（四国横断自動車道）宿毛内海道路（宿毛和田～宿毛新港）】

【一般国道56号（四国横断自動車道）宿毛内海道路（一本松～御荘）】

【一般国道55号 奈半利安芸道路（奈半利～安田）】

- 物流、観光、防災の全ての観点から、8の字ネットワークは早期に整備すべき。
- 能登半島地震での甚大な被害を考えると、南海トラフ地震が今後発生すると予想されている中で、救助や啓開、応援体制を整えるためにも、いち早くこの道路を完成すべき。
- 愛南町の住民は地震に対する不安や、高齢化も進んでいる中で医療サービスを受けられるか不安を持たれている。この道路はその不安に対する希望になる。
- 道路整備にあたりコストを抑えることは重要だが、災害時にも確実に使え、かつ維持管理しやすい道路にすべき。
- 地方と言われる地域では、人口も少なくB/Cが厳しい環境にあるが、道路を繋ぐことで命が守られ、観光客もたくさん来てもらえるし、人口減少する中で地場産業を守る観点もあるので、非常に重要な道路。
- 本事業は早急に整備すべき。加えて、WSENETにも掲げられている、自動運転を見据えた拠点機能の強化も検討すべき。
- 社会的割引率に関して、今の社会の中においては長期的な展望が求められており、1%、2%の違う数字を示して議論が活発になるのは良いこと。

## □結論

- 一般国道56号（四国横断自動車道）宿毛内海道路（宿毛和田～宿毛新港）
- 一般国道56号（四国横断自動車道）宿毛内海道路（一本松～御荘）
- 一般国道55号 奈半利安芸道路（奈半利～安田）

の新規事業化については妥当である。

# 九州地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和6年3月7日（木）10:00～11:10

## □場所

九州地方整備局（福岡第二合同庁舎） 2階共用会議室

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いけうち ひろこ 池内 比呂子	(一社)九州経済連合会 理事 (株)テノ、ホールディングス 代表取締役社長	
いしばし ともや 石橋 知也	長崎大学大学院 工学研究科 准教授	○
くわの いずみ 桑野 和泉	(一社)由布市まちづくり観光局 代表理事	
ささがわ みちこ 笹川 理子	弁護士法人 笹川法律事務所 弁護士	○
しまもと ひろし 嶋本 寛	宮崎大学 工学教育研究部 社会環境システム工学科 准教授	○
てらまち けんいち 寺町 賢一	九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 准教授	○
とだ じゅんいちろう 戸田 順一郎	西南学院大学 商学部 商学科 教授	
はらぐち ゆい 原口 唯	(株)YOUI 代表取締役	
まつなが ちあき 松永 千晶	福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 准教授	
【委員長】 まるやま たくや 円山 琢也	熊本大学大学院 先端科学研究部 教授	○

(敬称略、五十音順)

## □対象事業

- ・一般国道220号（東九州自動車道） 南郷奈留道路
- ・一般国道57号 大津道路

## □議事概要（各委員からの意見）

### 【一般国道220号（東九州自動車道） 南郷奈留道路】

- ・観光面では、空港や港等への定時性・速達性が確保され、災害時においても、高規格道路はすぐに復旧され、信頼性が高い道路として通行機能を発揮するなど、3便益の数字では示されない効果も期待ができる。
- ・社会的割引率については、最新の社会経済情勢等を踏まえ、今回比較のために参考として1%、2%で算定され、B/Cが向上していることが確認できており、現状の世相に近い形で反映されている。
- ・山間部を通過し、橋梁数も多いようなので、橋梁の維持管理費については、今後の技術革新等も活用し、コスト低下に努められると良い。

### 【一般国道57号 大津道路】

- ・熊本市街地から阿蘇方面の所要時間のばらつきが小さくなり、定時性・信頼性が向上されるため、観光面や医療面でも重要であり、経済安全保障上も重要な事業である。また、TSMCの影響が加味されていないため、今後更に交通量が増え、更なる整備効果が期待される。
- ・阿蘇方面や大分方面と熊本市街地方面との時間短縮等の整備効果を高めるためにも、当該区間以外のミッシングリンクである熊本北～下碓川間（熊本環状連絡道路）等の早期事業着手が必要である。

## □結論

一般国道220号（東九州自動車道） 南郷奈留道路  
一般国道57号 大津道路  
の新規事業化については妥当である。